

- 問1 アフリカのナイル川流域で発展した古代エジプト文明において、川の定期的な増水を予測し、農作の時期を正確に把握するために作成された暦（こよみ）を何といいますか。（2026年 沖縄県公立入試 類似）
1. 太陽暦 2. グレゴリオ暦 3. 二十四節気 4. 太陰暦
- 問2 1492年に製作された現存する世界最古の地球儀には、当時のヨーロッパ人が存在を知らなかった南北アメリカ大陸が描かれていません。この大陸の南部に位置するアンデス山脈を中心に、16世紀前半にスペイン人に滅ぼされるまで独自の石造建築文化を築いた帝国を何といいますか。（2026年 大阪府公立入試 類似）
1. インダス文明 2. インカ帝国 3. アステカ文明 4. マヤ文明
- 問3 紀元前16世紀ごろ、中国の黄河流域におこった古代国家において、神への問いかけや占いの結果を記録するために、亀の甲羅や牛の骨に刻んで使われていた文字を何と言いますか。（2019年 千葉県公立入試 類似）
1. 象形文字 2. インダス文字 3. 甲骨文字 4. 楔形文字
- 問4 古代のイタリア半島を中心に発展したある国家の歴史的特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。（2025年 和歌山県公立入試 類似）
1. 紀元前6世紀に直接民主政を確立し、地中海統一後も小規模な都市国家の連合体を維持した。 2. 紀元前6世紀に共和制が始まり、地中海沿岸の広い地域を統一して巨大な帝国へと発展した。 3. 地中海東岸で興り、シルクロードを通じて中国の長安と直接的な政治同盟を結んでいた。 4. イタリア半島を拠点としながらも、共和制を経験せずに最初から強力な皇帝による専制政治が行われた。
- 問5 古代文明の遺跡や遺物に関する説明として、インダス文明の事例に該当するものを次の中から選びなさい。（2025年 愛知県公立入試 類似）
1. ピラミッドが建設され、王の遺体はミイラとして保存されていた。 2. 牛などの動物が描かれた石板に、未解読の独自の文字が刻まれている。 3. ジグuratと呼ばれる巨大な聖塔が建設され、神を祀る儀式が行われていた。 4. 秦の始皇帝の墓を守るため、実物大の兵士や馬をかたどった大量の土人形が埋められている。
- 問6 キリスト教の聖地エルサレムをイスラム勢力から奪還するために行われた十字軍の遠征が、その後のヨーロッパの社会情勢に与えた影響として正しい説明を選びなさい。（2017年 三重県公立入試 類似）
1. カトリック教会の権威が以前よりも強固になり、封建領主が各地で独立した権力を握るようになった。 2. 地中海東岸への遠征を通じて、北アフリカから西アジア一帯をキリスト教勢力が完全に支配下に置いた。 3. 遠征が失敗に終わったことでローマ教皇の権威が低下し、国王の権力が高まるきっかけとなった。 4. イスラム教との交流が完全に遮断された結果、ヨーロッパ独自の自給自足的な経済が完成した。
- 問7 世界で最も早く文明が誕生したとされる四大文明の共通点として、なぜそれらの地域が大河の流域であったのか、その理由と背景を説明した文として最も適切なものを選びなさい。（2019年 沖縄県公立入試 類似）
1. 大河の周辺は山岳地帯に囲まれており、外敵の侵入を防ぐのに適した要塞のような地形だったから。 2. 広大な砂漠地帯において、唯一の交通路である大河を独占することで、シルクロードを通じた東西貿易の利益を独占できたから。 3. 川の流れを利用した水力発電が可能になり、早期に工業化が進んだことで、周辺地域を支配する軍事力を手に入れたから。 4. 定期的な川の氾濫が肥沃な土壌を運び、農業の生産性が向上したことで、人口が増え集団を統治する国家が必要になったから。
- 問8 古代ギリシャの都市国家（ポリス）について、代表的な都市の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2024年 和歌山県公立入試 類似）
1. 長安・洛陽 2. メンフィス・テーベ 3. アテネ・スパルタ 4. ローマ・カルタゴ
- 問9 ムハンマドがメッカでイスラム教の布教を始めた当初、現地の富裕層や権力者から激しい迫害を受けた理由として、最も適切な背景を説明したものを選びなさい。（2019年 埼玉県公立入試 類似）
1. 王を神の化身として崇拝することを強制したから 2. 神の前ではすべての信者が平等であると説いたから 3. 偶像崇拝を強く推奨し、古い寺院を壊したから 4. 特定の身分の人だけが救われるという教義だったから
- 問10 群馬県にある岩宿遺跡の発見は、日本史の研究において非常に重要な意味を持っています。この遺跡が発見されるきっかけとなった出来事と、それによって明らかになった当時の状況の説明として最も適切なものはどれですか。（2023年 京都府公立入試 類似）
1. 大規模な水田遺構が発見され、縄文時代から本格的な稲作が始まっていたことが証明された。 2. 人物や動物をかたどった埴輪が大量に出土し、強力な権力を持つ王が存在していたことが判明した。 3. 相沢忠洋が火山灰の地層から打製石器を発見し、更新世の日本列島に人が居住していたことが証明された。 4. 「漢委奴国王」と刻まれた金印が発見され、当時の日本が中国の王朝と交流していたことが判明した。
- 問11 パチカンのサン・ピエトロ大聖堂の歴史的背景について記されたレポートにおいて、11世紀末から開始されたキリスト教徒による大規模な軍事遠征の目的として最も適切な説明はどれですか。（2023年 青森県公立入試 類似）
1. キリスト教の教義に反する考えを持つ人々を裁判にかけ、信仰の純粋性を守ること 2. イスラム教勢力の支配下にあった聖地エルサレムをキリスト教徒の手に取り戻すこと 3. シルクロードを通じた東洋との交易を独占し、新しい航路を確保すること 4. 教会による免罪符（贖宥状）の販売に抗議し、聖書の教えに基づく信仰を確立すること
- 問12 古代中国の殷王朝において、甲骨文字が用いられていた背景や目的を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2016年 愛知県公立入試 類似）
1. 周辺諸国との貿易において、商品の数量や金額を正確に記録するために作成された。 2. 仏教を日本などの近隣諸国へ広める際、経典の内容を翻訳するために発明された。 3. 広大な国土を治めるために、民衆に法律を周知させる目的で石碑に刻んで公開された。 4. 王が占いや祭祀によって神の意志を確認し、政治の重要な決定を下すために使用された。
- 問13 古代東アジアの勢力範囲を説明した資料において、漢（前漢）の時代に万里の長城が築かれた場所を文章で表現する場合、その位置関係の説明として最も適切なものはどれですか。（2026年 埼玉県公立入試 類似）
1. 中国大陸の北側に位置する内陸部の境界線に沿って配置されている 2. 朝鮮半島の中央部を横断し、半島を南北に分断するように配置されている 3. 中国大陸の南部の海岸線に沿って、海上勢力を防ぐように配置されている 4. 日本列島に近い沿岸部に位置し、東方の島々との境界となっている

答え合わせ・解説

問1	答え 1 太陽暦	ナイル川は毎年決まった時期に増水し、周囲に肥沃な土壌をもたらしました。この氾濫の周期を把握することは、農業を行う上で極めて重要であったため、天体の動きを観察することで1年を365日とする太陽暦が考案されました。これは後にローマで採用され、現在の暦の基礎となりました。
問2	答え 2 インカ帝国	南アメリカ大陸のアンデス山脈沿いに広まったこの帝国は、文字を持たない代わりに「キープ」と呼ばれる紐の結び目で情報を記録し、マチュピチュのような高地都市や精巧な石造建築を発達させました。1492年の地球儀に描かれていないのは、コロンブスの到達以前でヨーロッパにその存在が知られていなかったためですが、16世紀にピサロ率いるスペイン人によって征服されました。
問3	答え 3 甲骨文字	古代中国の殷では、政治の重要な決定を占いに頼っており、その内容を記録した文字が現在の漢字の原型となりました。エジプトの象形文字、メソポタミアの楔形文字、インダス文明のインダス文字など、他の古代文明で使われていた文字との違いを区別しておく必要があります。
問4	答え 2 紀元前6世紀に共和制が始まり、地中海沿岸の広い地域を統一して巨大な帝国へと発展した。	この国家は、紀元前6世紀末に王を追放して共和制を開始しました。その後、ポエニ戦争などの有力な敵対勢力との戦いを経て、イタリア半島から地中海全域へと領土を拡大しました。紀元前1世紀末には、それまでの共和制から、実権を握る皇帝が統治する帝政へと移行し、長期間にわたる平和と繁栄を享受することとなりました。
問5	答え 2 牛などの動物が描かれた石板に、未解読の独自の文字が刻まれている。	インダス文明の大きな特徴の一つは、インダス文字が刻まれた印章の存在です。これらは交易の際の所有権を示すために使われたと考えられており、牛などの動物の絵が併記されていることが多いのが特徴です。ジググラトはメソポタミア文明、兵馬俑（兵士の土人形）は中国の秦代、ピラミッドはエジプト文明に関連する遺構です。
問6	答え 3 遠征が失敗に終わったことでローマ教皇の権威が低下し、国王の権力が高まるきっかけとなった。	十字軍は長期にわたり遠征を繰り返しましたが、最終的に聖地を奪還できず失敗に終わりました。これにより、遠征を主導したローマ教皇の権威は衰え、多大な戦費を負担した封建領主や騎士も没落していきました。その一方で、勢力を維持した国王が中央集権的な国家体制を整え始め、中世社会の変化を促しました。また、遠征を通じて東方貿易が盛んになり、イタリアの諸都市が繁栄したことも重要な影響です。
問7	答え 4 定期的な川の氾濫が肥沃な土壌を運び、農業の生産性が向上したことで、人口が増え集団を統治する国家が必要になったから。	大河の流域では、氾濫によって運ばれる栄養豊富な土を利用して大規模な農業が可能になりました。治水や灌漑（かんがい）などの大規模な作業を統率するために強力な指導者が現れ、それがやがて国家の形成へとつながりました。これに伴い、記録のための文字や暦も発達しました。
問8	答え 3 アテネ・スパルタ	古代ギリシャには数百のポリスが存在していましたが、その中でも民主政を発達させたアテネと、強力な軍事教育で知られたスパルタは、ギリシャ世界を代表する二大ポリスとして歴史上重要な役割を果たしました。
問9	答え 2 神の前ではすべての信者が平等であると言いたから	イスラム教は、神の前での平等を説き、貧しい人々への施しを重視しました。この教えは、商業によって利益を独占し、身分格差を維持しようとしていたメッカの富裕層にとって、既存の社会秩序を脅かす危険な思想とみなされたため、厳しい弾圧を受けることになりました。
問10	答え 3 相沢忠洋が火山灰の地層から打製石器を発見し、更新世の日本列島に人が居住していたことが証明された。	岩宿遺跡の発見以前は、日本列島の歴史は縄文時代から始まると信じられていました。相沢忠洋が関東ローム層という更新世（氷河時代）に堆積した地層から打製石器を見つけたことで、土器出現前の古い時代に人類が活動していた証拠となりました。他の選択肢にある水田は弥生時代、金印や埴輪はそれ以降の時代の特徴です。
問11	答え 2 イスラム教勢力の支配下にあった聖地エルサレムをキリスト教徒の手に取り戻すこと	十字軍はローマ教皇の呼びかけに呼応したヨーロッパ諸国の王や貴族によって組織されました。主な目的はイスラム教勢力から聖地エルサレムを奪還することでしたが、遠征の過程で地中海東岸への進出や商業的利益の確保といった側面も持つようになり、西ヨーロッパ社会が外の世界へと拡大する契機となりました。
問12	答え 4 王が占いや祭祀によって神の意志を確認し、政治の重要な決定を下すために使用された。	殷の時代は、占いの結果に基づいて政治を行う「神権政治」が行われていました。甲骨文字は、亀の甲羅などを火であぶった際にできるひび割れの形から神の意志を読み取り、その問いかけや結果を記録するために使用されたため、当時の政治と密接に結びついています。
問13	答え 1 中国大陸の北側に位置する内陸部の境界線に沿って配置されている	漢の時代の万里の長城は、王朝の北限を示すように、現在の中国の内陸部から黄河の北側、さらには朝鮮半島の付け根付近にかけての境界線上に築かれました。これは、農耕定住生活を送る漢の勢力圏と、それより北側に広がる遊牧民族の活動圏を物理的に切り分ける境界線の役割を果たしていました。